

統計演習 (10)

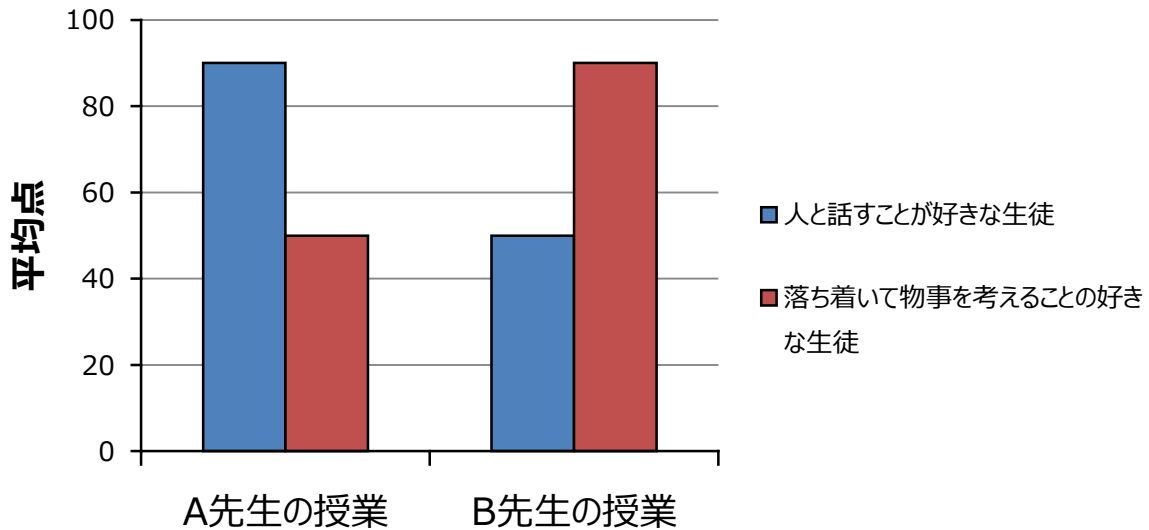
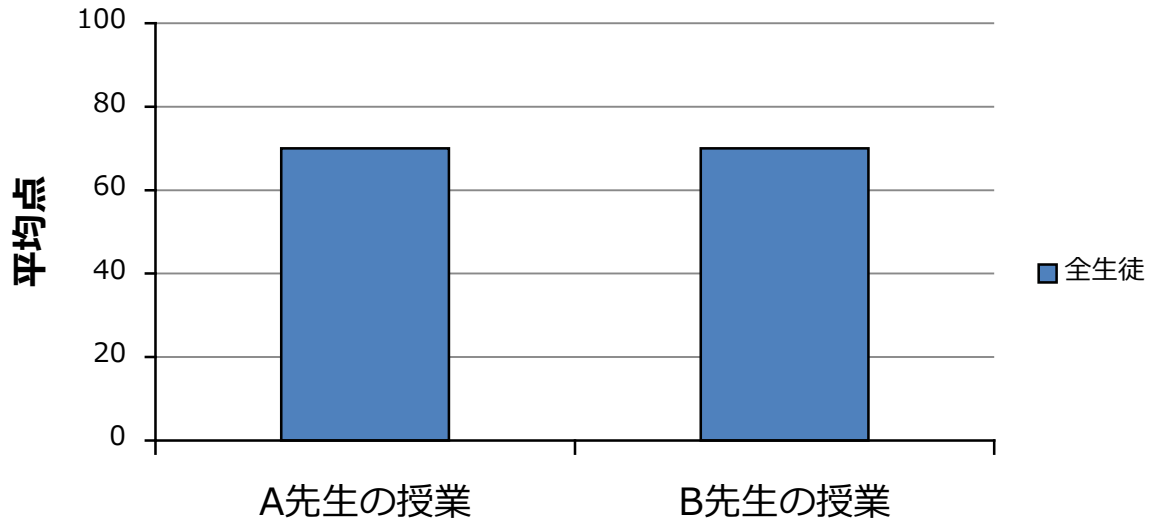
2要因で分類される多群の差の検定
繰り返しのある場合

高谷 智英

Dec 6, 2017



簡単な例





繰り返しのある二元配置データ

		要因B			
		B ₁	B ₂	...	B _k
要因A	A ₁	X ₁₁₁ : X _{11n}	X ₁₂₁ : X _{12n}	: : :	X _{1k1} ... X _{1kn}
	A ₂	X ₂₁₁ : X _{21n}	X ₂₂₁ : X _{22n}	: : :	X _{2k1} : X _{2kn}
	:	: : :	: : :	: : :	: : :
	A _h	X _{h11} : X _{h1n}	X _{h21} : X _{h2n}	: : :	X _{hk1} : X _{hkn}

2つの要因 A と B によって条件付けられた、n個の(繰り返しのある) 実験データ

データに対応が「ない」例 : A が細胞種、B が遺伝子、x がサンプル (or 試験)

データに対応が「ある」例 : A がマウス群、B が日数、x が個体の体重

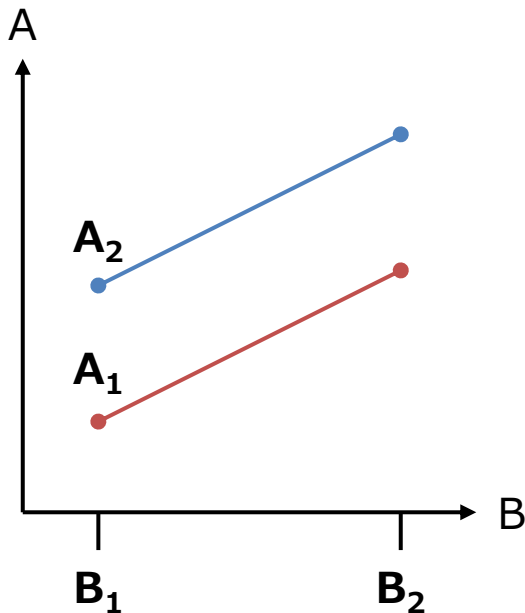


08-1 繰り返しのある二元配置分散分析法

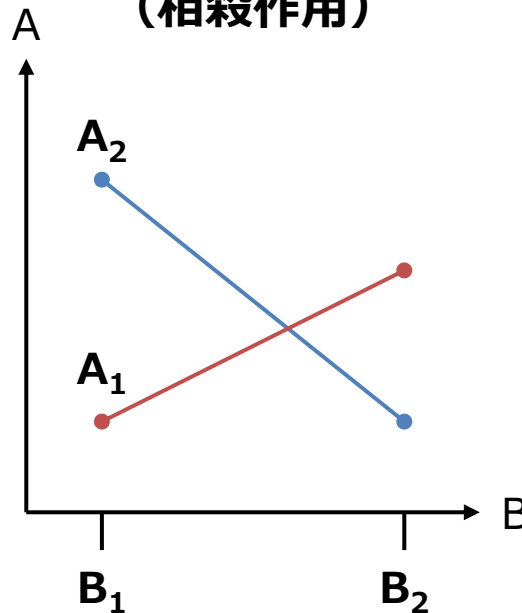
繰り返しのあるデータに対応がない場合に用いる。

まず、要因 A と B の交互作用 interaction を見る。

交互作用なし



交互作用あり
(相殺作用)



交互作用あり
(相乗作用)

